



永 福

令和6年9月2日
杉並区立永福小学校

支える力と感謝する心

校長 難波 誠二

43日間の長い夏休みが終わりました。ご家庭ではいかがお過ごしされたでしょうか。学校では夏休みが始まった7月19日に恒例のE-ビレッジ主催「どきどきキャンプ」が開催されました。異学年の子供たちが一緒にレクやカレー作りに取り組み寝食を共に楽しい思い出を作ることができました。ご準備いただきました皆様に心より感謝申し上げます。本日より2学期がスタートし、子供たちの元気な声が永福小に戻ってきました。今学期も職員一同力を合わせ、充実した学期になるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年の夏は8年ぶりの有観客となったパリオリンピックの観戦に熱中し、寝不足になった方も多かったのではないのでしょうか。連日連夜の日本選手の活躍には目を見張るものがありました。フェンシング競技の躍進や馬術や近代五種、飛込競技など競技団体念願のメダル獲得、また陸上競技では、世界のトップアスリートと肩を並べ競い合う日本人選手の姿に驚かされ、たくさんの勇気や感動をもらいました。メダル獲得が全てではありませんが、海外でのオリンピックでのメダル獲得数は過去最高になり、日本のスポーツ文化を陰で支えてきた各競技団体の皆さんの並々ならぬ努力が見事に形になった大会だと感じました。

私は学生時代卓球競技に取り組んできました。そのため、今回の大会も日本卓球チームの活躍を願い手に汗握りながら連日観戦を続けました。女子シングルスでは活躍を期待された早田ひな選手が準決勝前に利き腕を負傷するハプニングに見舞われました。3位決定戦の出場も危ぶまれる状況でしたが、満身創痍の中で出場し、悲願のメダル獲得を果たし泣き崩れる姿がありました。その後のインタビューで早田選手は「JOCの方や日本チームの方が最後まで自分がプレーできるように最善を尽くしてくれました。」と涙で感謝の気持ちを述べていました。試合直前まで一人の選手のためにコーチやスタッフ、卓球協会など多くの方々が支え最善を尽くし勝ち取った悲願のメダルであることを知り、一卓球ファンとして感動を覚えた瞬間でした。

メダルの獲得の有無にかかわらず、どの競技でも試合後のインタビューでは、多くの選手が支えてくれた家族やコーチ、スタッフへの感謝の言葉を述べています。私たちは華やかにそして豪快にプレーする選手の姿に魅了されますが、選手のパフォーマンスの陰には、多くの人々のサポートがあり、そのサポートへの感謝の気持ちが選手の最後まであきらめない気持ちやいつも以上の力を発揮するエネルギーになったことを知り、スポーツを支える力の素晴らしさを感じる大会になりました。

8月28日からはパリパラリンピックが始まっています。パラリンピックにはパラアスリートの姿を目の当たりにすることで、多様な価値を認め合い共生社会の実現につなげるという理念があります。特に驚くのはその競技の種目数です。22競技で549種目があります。オリンピックが32競技329種目ですから、その多さがよく分かります。これは誰もがパラスポーツに親しめるように様々な障がいの種類と程度に応じたクラス分けがされているからです。また、オリンピック以上に大会に向けて多くの人々が様々な場面でサポートし、選手の参加や大会の運営が成り立っていることも注目して欲しい点です。

私が以前、副校長時代に勤めていた学校では、体育館をボッチャ競技の日本代表ユースチームの合宿場所として貸し出す機会がありました。当日は日本全国から選手が家族と共に車で駆けつけ、体育館で熱心に練習に励む姿を見ることができました。またそれと同時に選手と共に合宿に参加する家族の想いやその練習をサポートするボッチャ協会スタッフの並々ならぬ熱意を知る機会にもなりました。協会スタッフの方は「ここにいるメンバーは家族同様なんです。」とおっしゃっていました。海外の大会に出場する際には、バリアフリーのホテルを手配し、部屋の室温管理やシャワー、寝返りの手伝いまでサポートするそうです。選手と同じように家族やコーチ、協会スタッフも一緒に夢を追い続ける姿に感心させられる大変貴重な機会でした。実は今回のパリ大会にその時に参加していたユース選手の1人が日本代表として出場することになったと知りました。永年の夢をかなえ出場するパリ大会です。数年前のユース合宿の姿を思い出しながら、ボッチャ競技に特別な思い入れをもって応援したいと思っています。もう少し、寝不足の日々が続きそうです。

9月の生活目標『生活にけじめをつけよう』

長い夏休みも終わり、2学期が始まりました。学校には子供たちの賑やかな声が戻ってきました。2学期は学期の中で一番長い期間の学習になり、学習発表会や永福マラソン等の行事も予定されています。子供たちが学校生活のリズムを取り戻し、健康で充実した学校生活を送れるように指導していきます。

ご家庭でも、元気に過ごせるように早寝・早起き・朝ご飯を食べるなど生活のリズムを整えることや、気持ちのよい挨拶ができるよう声掛けするなど、ご協力をよろしくお願いたします。

☆ 9 月 行 事 予 定 ☆

日	曜日	行 事 予 定	日	曜日	行 事 予 定
1	日		16	月	敬老の日
2	月	3時間授業 始業式 給食なし	17	火	社会科見学(3年)
3	火	給食始 発育測定(1・2年) 委員会活動⑤ 安全指導	18	水	
4	水	発育測定(5・6年)	19	木	理科出前授業(6年)
5	木	発育測定(3・4年) えいふく教室理解教育(2年)	20	金	
6	金	夏の作品展始 エバリー音楽鑑賞教室(1～3年)	21	土	土曜授業(3時間授業)
7	土	茶道教室	22	日	秋分の日
8	日		23	月	振替休日
9	月	全校朝会	24	火	クラブ活動④
10	火	委員会活動⑤ 避難訓練 1年生国語モジュールスタート	25	水	たてわり班活動③ 研究授業(6年1組)
11	水		26	木	
12	木	2年生木曜6時間授業スタート 向陽中学校体験プログラム(5・6年)	27	金	夏の作品展終 移動教室事前健診(5年)
13	金		28	土	にこパラまつり2024
14	土		29	日	
15	日		30	月	移動教室始(5年) 移動プラネタリウム(6年)

※今後も予定が変更になるかもしれません。ご了承ください。

学校ニュース

◎夏休み作品展、保護者見学週間について

9月6日(金)～27日(金)の間、各教室廊下にて、児童が夏休み期間中に作成した作品を展示します。お時間のある時にぜひご覧ください。

※入校証と上履きの持参をお願いします。

◎土曜授業のお知らせ

21日に土曜授業を行います。お忙しい中だと思いますが、是非、ご参観いただけたらと思います。尚、今回はスマイリーキクチさんによる「SNS安全利用講演会」も予定しています。詳細は、また tetoru にてお知らせいたします。

※例年実施しておりました、次年度入学保護者対象とした学校見学・学校説明会は、今年度は実施いたしません。

永福小の窓①【CS】

7月19日(金)体育館にて、【第1部】CS委員と教員との交流会を行いました。「やってみたいこと、改善していきたいことや困っていること」をテーマに小グループになって意見交換を行いました。先生方の工夫や委員への要望、改善案等について意見が出されました。

【第2部】では、第1部の内容を踏まえ委員が話し合い、子供たちも、先生も、みんなが気持ちよく学べる永福小の実現に向けて具体的な対応について議論・確認されました。

学校運営協議会は原則公開制となっています。ただし、議題の内容により、一部のみ公開とする場合もございます。傍聴をご希望の場合は事前に傍聴希望の旨お知らせください。

永福小の窓②【小中連携】

小中学校間の連携を図るために、6月12日に永福小学校、高井戸第三小学校、向陽中学校の3校による小中合同研修会が開かれました。今年度は生活指導、国語、算数・数学、外国語、ICT、特別支援、総合的な学習の7つの分科会に分かれ、協議会、研究授業、研究成果の発表会を予定しています。先日の協議会では、普段の学校生活や授業など、小学校と中学校のそれぞれの様子を話し合うことで、小中9年間の学びの連続性や、そのための教育実践について理解を深めることができました。また、それぞれの分科会ごとに取り組んでいく1年間のテーマを決めました。研修を通して、職員間の連携を深めるとともに、小中9年間の学びをつなぎ、確かな学力の育成や指導の充実を目指していきます。